

【Plan】 計画 / 【Do】 実施												【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
I-1- (1)-① 仕事と 子育て の両立 支援	1	③ ④ ⑧ ⑱	放課後児童ク ラブの管理運 営	子育て支 援課	市民ニーズに応 えられる放課後児 童クラブの運営内 容を確保するた め、運営団体に対 する研修会の実 施、開設時間の標 準化や延長の推進 等により、運営体 制の充実を図る。 また、障害のある 児童や高学年児童 を含め利用者が増 加する中で、児童 への対応を充実す るため、適切な指 導員数を配置する とともに、研修の 充実、指導員相互 の交流や情報交 換、障害のある児 童などの対応を支 援するための臨床 心理士等の巡回派 遣を行い、指導員 の資質向上を図 る。	放課後児童クラ ブの利用を希望 する児童の受け 入れ	100%	100 %	100 %	100 %	100% (毎年 度)	継続	2,628,586	2,615,120	維持	50,750	順調	放課後児童クラブの施設整 備や利用内容の充実など、引 き続き運営基盤を強化する。 放課後児童支援員等の資質 向上など、放課後児童クラブ の運営体制の充実を図るとと もに、クラブの活動内容の充 実を目指して、学校や地域と の連携を図り、魅力あるクラ ブの運営を促進する。 乳児・幼児期の教育・保育 を「北九州市子ども・子育て 支援事業計画」に基づき、計 画的に提供していく。また、 教育・保育施設の利用状況や 利用者の希望とともに、幼稚 園、保育所事業者の意向など を踏まえ、幼稚園と保育所の 機能を併せ持つ認定こども園 への移行支援・普及に努め る。			
							目標												100 %		
							実績												100 %		
						達成率	100.0 %														
						放課後児童クラ ブに対する満足 度（開所日、開 所時間）	70.1%	80.3 %	前年度 (70.1%) 比向上	前年度比 向上									前年度比 向上	R1年度 比向上 (R6年 度)	
							目標														前年度 (70.1%) 比向上
							実績														80.3 %
						達成率	114.6 %														
						運営内容に関す る自己評価実施 クラブ率	R2年度 より実 施	100 %	100 %	100 %									100 %		100% (毎年 度)
					目標		100 %														
					実績		100 %														
					達成率	100.0 %															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善																		
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)													
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標												
2	③ ④ ⑧		保育所運営事業	保育課	仕事と子育ての両立支援を推進するため、保育を必要とする子どもは誰でも保育所に入所でき、多様なニーズに応えながら、子どもの健やかな育成を支援する保育サービスの実現を図る。	保育所待機児童数 (4月)	0人 (R1年度)	目標	0	人	0	人	0	人	継続	14,677,082	12,571,578	減額	5,800	順調	「北九州市子ども・子育て支援事業計画」を着実に進め、認定こども園への移行支援や保育所の老朽改築に合わせて入所定員の拡大を図るとともに、保育士が働きやすい環境を整備することによって保育士確保に取り組み、待機児童の継続的な解消を図る。事業費については、11所の保育所が認定こども園へ移行する予定であるため、昨年度比減となった。											
							実績	0	人				0人 (毎年度)																			
							達成率	100.0	%																							
						保育所待機児童数 (10月)	0人 (R1年度)	目標	0	人	0	人	0	人										継続	7,827,450	10,306,779	増額	5,400	順調	新制度の幼稚園及び認定こども園への移行が増えており、今後も引き続き新制度に移行する私立幼稚園及び認定こども園に対して支援を行っていく。		
							実績	0	人				0人 (毎年度)																			
							達成率	100.0	%																							
施設型給付へ移行する私立幼稚園数	26箇所 (R1年度)	目標	30	箇所	31	箇所	31	箇所	継続	7,827,450	10,306,779	増額	5,400	順調	新制度の幼稚園及び認定こども園への移行が増えており、今後も引き続き新制度に移行する私立幼稚園及び認定こども園に対して支援を行っていく。																	
	実績	30	箇所				希望園の全てが移行 (R6年度)																									
	達成率	100.0	%																													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施												【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標
I-1- (1)-② 年間を 通じた 待機児 童解消 策の推 進など 保育の 充実	4	③ ④ ⑧	一時預かり事 業	幼稚園・ こども 園課	「子ども・子育て 支援新制度」に より実施する一時 預かり事業におい て、保護者のニー ズに応じて教育時 間の終了後等に預 かり保育を実施す る私立幼稚園を支 援する。	事業を実施する 施設数	63箇所 (R1年 度)	目標 58 箇所 実績 64 箇所 達成率 110.3 %	63 箇所	前年度 同水準	60箇所 (R6年 度)	継続	211,298	209,098	維持	4,650	順調	引き続き、幼稚園が実施す る一時預かりに要する費用を 助成し、子ども・子育て支援 の推進を図る。	順調	「北九州市子ども・子育て 支援事業計画」に基づき、保 育の量の確保に努めていく。 保育士等の人材確保に取り 組むとともに、教育・保育の 質の向上を図るため、体系的 な研修等を通じて幼稚園教 諭、保育士等の専門性の向上 に取り組む。 子どもの生活リズムに十分 配慮しながら、幼稚園におけ る預かり保育や保育所におけ る延長保育、休日保育など、 多様なニーズに対応した保育 サービスの充実を図る。
	5	③ ④ ⑧	特別保育事業 補助	保育課	保護者の就労形 態の多様化等に対 応するため、保育 所の保育時間を午 後7時もしくは8 時まで延長する「 延長保育」の充実 を図る。また、保 護者のパート就労 や育児リフレッシュ 等の理由により、 一時的に家庭での 保育が困難となる 児童を保育所にお いて保育する「一 時保育」の充実を 図る。さらに、保 育所の通常保育に 加え、延長保育や 一時保育において も、集団保育の可 能な障害のある児 童の受け入れを行 う「障害児保育」 の充実を図る。	午後8時まで延 長保育を実施す る保育所の施設 数	2箇所 (R1年 度)	目標 2 箇所 実績 2 箇所 達成率 100.0 %			現状 維持 (R6年 度)	継続	705,770	676,623	維持	3,650	順調	保護者の就労形態の多様化 等に対応するため、「北九州 市子ども・子育て支援事業計 画」に基づき、事業を継続す る。		
						午後7時まで延 長保育を実施す る施設数	153箇所 (R1年 度)	目標 153 箇所 実績 148 箇所 達成率 96.7 %			現状 維持 (R6年 度)									
						一時保育事業の 実施施設数	82箇所 (R1年 度)	目標 82 箇所 実績 80 箇所 達成率 97.6 %			現状 維持 (R6年 度)									
						午後7時まで延 長保育を実施す る施設の割合	93.9% (R1年 度)	目標 現状値 (93.9%) 同水準 実績 94.2 % 達成率 100.3 %	前年度 同水準	前年度 同水準	現状値 と同水 準 (R6年 度)									
						一時保育事業の 実施施設の割合	56.2% (R1年 度)	目標 現状値 (56.2%) 同水準 実績 56.7 % 達成率 100.9 %	前年度 同水準	前年度 同水準	現状値 と同水 準 (R6年 度)									

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
6	③ ④ ⑧		病児保育事業	保育課	保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭など、やむをえない事由により家庭での保育が困難な病児中、病児回復期にある児童を医療機関併設型の施設において保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	病児保育施設利用者数	9,029人 (R1年度)	目標	前年度 (9,029人) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年度)	継続	189,732	192,905	維持	2,900	遅れ	「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」に基づき、病児保育事業を推進するため、引き続き新規施設の設置や既存施設への支援を実施する。
								実績	3,595 人										
								達成率	39.8 %										
7	③ ④ ⑧		保育サービス コンシェル ジュ事業	保育課	保育所、幼稚園や地域の子育て支援の事業等の利用について、情報の収集と提供を行うとともに、利用にあたり、子どもや保護者からの相談に応じるため、各区役所及び「ウーマンワークカフェ北九州」に保育サービスコンシェルジュを配置する。	保育所待機児童数 (4月)	0人 (R1年度)	目標	0 人	0 人	0 人	0人 (毎年度)	継続	35,567	32,946	減額	2,900	順調	保育の利用を希望するそれぞれの世帯の状況やニーズに合った保育サービスの情報提供を行うため、引き続き、全区で12名を配置し、待機児童対策に取り組む。 事業費については、実績に応じた見直しをした結果、昨年度比減となっている。
								実績	0 人										
								達成率	100.0 %										
						保育所待機児童数 (10月)	0人 (R1年度)	目標	0 人	0 人	0 人	0人 (毎年度)	継続	35,567	32,946	減額	2,900	順調	保育の利用を希望するそれぞれの世帯の状況やニーズに合った保育サービスの情報提供を行うため、引き続き、全区で12名を配置し、待機児童対策に取り組む。 事業費については、実績に応じた見直しをした結果、昨年度比減となっている。
								実績	0 人										
								達成率	100.0 %										

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号 ・ 施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標
8	③ ④ ⑧		保育士等の確保	幼稚園・ こども園 課 保育 課	<p>待機児童の解消を図るため、下記の事業により保育士等の人材確保に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士就職支援事業（保育士資格取得見込の学生等を対象とした就職説明会・保育士の資格等を持っていて、現在、保育士の職に就いていない人を対象とした研修）</li> <li>・保育士・保育所支援センター事業等（保育士の再就職支援や相談等による離職防止）</li> <li>・幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得支援等事業（幼稚園教諭の保育士資格取得支援や幼稚園への就職支援等）</li> <li>・予備保育士雇用費補助事業（年度当初に配置基準を超えて雇用した保育士の人件費の一部を補助）</li> <li>・保育士宿舍借り上げ支援事業（市内保育所・認定こども園を運営する法人が保育士の宿舍を借り上げるための費用の一部を助成）</li> <li>・若年層保育士に対する処遇改善事業（経験年数3年未満の職員の就職時準備金や賃金改善に要する費用の一部を補助）</li> </ul>	保育所待機児童数 (10月)	0人 (R1年度)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
							実績	0人												
							達成率	100.0 %												
									0人 (毎年度)	拡大	105,606	147,807	増額	15,100	順調	<p>今後も関係機関との連携を図ると共に、情報発信に努め、保育士や保育士資格取得見込者の保育所等への就職支援の充実を図る。</p> <p>特に、若年層保育士の他職種や市外への流出を抑制するため、新たに、市独自の処遇改善を実施する。</p> <p>また、研修内容を充実させると共に受講者の拡大を図るためのさらなるPR活動や、保育士宿舍借り上げ支援事業等を継続実施することで、保育士の確保を図る。</p>				



【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善																	
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)									
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標								
I-1-(1)-③ 母子が健康に生活できる環境づくり	9	③	母子健康診査	子育て支援課	妊婦や乳幼児の疾病または異常の発見および防止を図り、健康を保持増進させるため、妊婦、乳幼児の定期的な健診の機会を提供する。 (妊婦健康診査、B型肝炎母子感染防止事業、先天性代謝異常等検査、乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査)	妊婦健診受診率	96.7% (R1年度)	目標	前年度水準(96.7%)を維持	前年度水準を維持	前年度水準を維持	R1年度水準を維持(R6年度)	継続	881,819	881,550	維持	3,615	順調	妊婦健康診査、乳幼児健康診査を継続して実施し、妊婦や乳幼児の健康の保持増進を図る。	順調	今後も、国の動向を注視しながら、関係機関とうまく連携し、妊娠や乳幼児の疾病または異常の早期発見・早期支援に取り組み、子育ての孤立化や育児不安の解消に努めていくとともに、様々な機会を通じ、育児に関する相談など専門的な支援や情報提供を行い、母子の健康づくりに寄与していく。							
							実績	96.8 %																				
							達成率	100.1 %																				
						3歳児健診受診率	96.4% (R1年度)	目標	前年度水準(96.4%)を維持	前年度水準を維持	前年度水準を維持	R1年度水準を維持(R6年度)										継続	3,180,000	3,284,000	維持	12,300	順調	子育てに関する経済的な負担を軽減し、子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療に係る医療費助成を継続して実施する。 助成対象を、令和3年4月より中学生の通院費まで、令和4年1月より18歳までの入通院費まで拡充した。
							実績	100.4 %																				
							達成率	104.2 %																				
10	③	子ども医療費支給事業	子育て支援課	子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療に係る医療費の自己負担額を助成する。	医療費支給制度の維持	—	目標	維持	維持	維持	維持	継続	3,180,000	3,284,000	維持	12,300	順調	子育てに関する経済的な負担を軽減し、子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療に係る医療費助成を継続して実施する。 助成対象を、令和3年4月より中学生の通院費まで、令和4年1月より18歳までの入通院費まで拡充した。										
						実績	維持																					
						達成率	—																					
11	③	すくすく子育て支援事業	子育て支援課	母子健康手帳の交付、妊産婦乳幼児なんでも相談、母親学級、両親学級、育児学級等の母子保健教室、乳幼児発達相談指導「わいわい子育て相談」、乳幼児健診未受診者フォロー事業（児童虐待予防事業）、その他母子保健に関する事業を実施する。	なんでも相談の実施率	100% (134箇所) (R1年度)	目標	前年度水準(134箇所)を維持	前年度水準を維持	前年度水準を維持	R1年度水準を維持(R6年度)	継続	22,867	17,040	減額	6,150	順調	育児の孤立化を防ぐため、引き続き妊娠・出産・育児における保健事業を実施する。 事業費については、出生数に応じた見直しを行った結果、昨年度比減となっている。										
						実績	117 箇所																					
						達成率	87.3 %																					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
12	③		のびのび赤ちゃん訪問事業	子育て支援課	子育ての孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問することで、子育て情報の提供を行うとともに、さまざまな不安や悩みを聞き、支援が必要な家庭に対して適切な指導や支援、サービス提供に結びつける。また、うつ状態等を早期に把握し、きめ細かに支援するため、全産婦に産後うつを早期に発見するための質問票を用いて、支援する。	生後4か月までの乳児家庭全戸訪問の達成率	94.6% (R1年度)	目標	前年度 (94.6%) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年度)	継続	47,997	47,984	維持	4,115	順調	子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、引き続き関係機関と連携し、より効果的な事業の推進を図る。
								実績	91.4 %										
								達成率	96.6 %										
13	③ ⑬		妊娠・出産・養育にかかる相談・支援事業	子育て支援課	若年の妊婦や産後うつなど、養育支援を必要とする家庭に対し、訪問指導員を派遣し、家事を支援するとともに、思いがけない妊娠等に悩む女性に対する電話相談等を実施する。 また、多胎妊産婦の育児等の負担感や孤立感を軽減するための支援を行う。	養育支援ヘルパー実施	実施 (R1年度)	目標	継続実施	継続実施	継続実施	継続 実施 (R6年度)	継続	55,727	65,820	増額	4,115	順調	引き続き、思いがけない妊娠や不妊、不育症などの専門相談と、養育支援が必要な方へのヘルパー派遣、こんにちは赤ちゃん！小児科訪問（ペリネイタルビジット）事業を実施する。また、出産直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポートを行う産後ケアを実施し、安心して子育てができる支援体制を構築するとともに、産後うつを早期に発見するため、産後健康診査等への支援を行うなど産後ケア体制の充実（産婦への心理的ケアや保健指導、健康診査費用の助成、多胎児に関する育児支援）を図り、産前、産後支援について一体的に取り組んでいく。
								実績	実施										
								達成率	—										
14	③		一般不妊治療費等助成事業	子育て支援課	医療保険が適用されず高額な医療費がかかる配偶者間の不妊検査・治療に関する費用を一部助成する。	一般不妊治療及び不育症検査・治療の費用助成の実施	—	目標		実施	実施	継続 実施 (R6年度)	継続	12,000	3,579	減額	4,115	—	医療保険が適用されず高額な医療費がかかる配偶者間の不育症検査・治療に関する費用を一部助成し、経済的負担の軽減等を図る。 一般不妊治療（人工授精）が令和4年度より保険適用になることから、一般不妊治療費の助成は終了する。
								実績											
								達成率											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善																				
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)												
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標											
I-1-(1)-④ 子育ての不安 や悩みを軽減 する環境づくり	15	③	子育てに関する 情報提供の 充実	総務 企画 課	子育て中の人 が、子どもの成長 に合わせた情報を タイムリーかつ手 軽に入手できるよ う、情報誌の内容 や、情報提供方法 の充実を図り、必 要とする市民に子 育ての情報を的確 に届ける。 また、本市が取 り組んでいる子ど もの健全育成や子 育て支援について の成果や課題、 データを盛り込ん だ「子ども家庭レ ポート」を発行し 、市民や地域の 担い手に周知する ことで、地域全体 で子育てを支援す る環境づくりの一 助とする。	「こそだて情 報」及び「子ど も家庭レポート」による情報 提供の実施	発行 (R1年 度)	目標	発行	発行	発行	発行の 継続 (毎年 度)	継続	5,002	5,002	維持	6,150	順調	子育て中の人 が、子どもの 成長に応じた情報をタイム リーに、かつ気軽に入手でき るよう、情報誌の内容の充実 を図る。	順調	身近な地域における子育て を支えるネットワークづくり など、地域社会全体で子育て を支援する環境づくりを進め る。 親子ふれあいルームや子ど も・家庭相談コーナーの相談 員等の資質向上を図るなど、 子育てに悩みや不安を持つ保 護者が、分かりやすく利用し やすい相談体制の維持に努め る。 子育て中の人 が知りたい情 報をタイムリーに手軽に入手 できるよう、情報誌やホーム ページなどを活用した情報提 供を行う。										
						達成率	—																								
						実績	発行 (R1年 度)	発行																							
16	③ ⑪ ⑰		親子ふれあい ルーム運営事 業	子育て支 援課	乳幼児を持つ保 護者の子育てへの 不安を軽減し、親 子が気軽に集い、 交流、情報交換、 育児相談等ができ るスペースを区役 所や児童館などで 運営する。	親子ふれあい ルーム利用者数 (乳幼児数)	31,889 人 (R1年 度)	目標	前年度 (31,889人) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比 増加 (R6年 度)	拡大	36,935	38,660	維持	7,275	やや 遅れ	親子ふれあいルームの質の 向上や利用促進を図るため、 運営スタッフへの研修の実施 やコロナ禍での運営方法等、 親子が安心して利用できるよ う引き続き検討していく。												
						実績	15,470 人																								
						達成率	48.5 %																								
17	③ ⑯		子ども・家庭 相談コーナー 運営事業	子育て支 援課	各区役所に「子 ども・家庭相談 コーナー」を設置 し、子どもと家庭 に関するあらゆる 相談をひとつの窓 口で受け、ひとり 親家庭の自立支 援、DV被害者対 応、児童虐待等、 それぞれの相談に 応じた支援・対応 を行うとともに、 必要に応じて他 の機関のサービス 支援へとつなげ る。	子育ての悩みや 不安を感じる人 の割合(就学前 児童の保護者)	35.5% (R1年 度)	目標	前年度 (35.5%) 比減少	前年度比 減少	前年度比 減少	R1年度 比減少 (R6年 度)	継続	126,400	124,815	維持	6,075	順調	子どもや家庭に関する相談 内容は、複雑かつ多岐にわ たっており、引き続き相談体 制を維持し、子育ての負担を 感じる方への迅速かつ適切な 支援を図る。 事業費については、研修等 のオンライン化が進んでいる ことから、見直しを実施し た。												
						実績	40.9 %																								
						達成率	84.8 %																								
						子育ての悩みや 不安を感じる人 の割合(小学生 の保護者)	41.6% (R1年 度)	目標	前年度 (41.6%) 比減少	前年度比 減少	前年度比 減少	R1年度 比減少 (R6年 度)																			
						実績	39.6 %																								
						達成率	104.8 %																								



【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
18	③		子育て支援総合コーディネーター事業	保育課	<p>「子育て支援サロン“ぴあちえれ”」に子育て支援総合コーディネーターを配置し、面接、電話やメールによる子育てに関する相談の対応を行い、必要な関係機関との連携、調整等の支援を行う。</p> <p>また、大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座の開催や絵本の貸出を行い、子育て支援の充実を図る。</p>	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	35.3% (R1年度)	目標	前年度 (35.5%) 比減少	前年度比 減少	前年度比 減少	R1年度 比減少 (R6年度)	継続	13,874	13,874	維持	4,150	順調	子育て相談体制を整備し、関係機関との連携もさらに深めて情報収集を行いながら、子育て支援の充実を図る。今後も子育て世代のニーズを把握して育児講座を開催する。
								実績	40.9 %										
19	① ③ ⑩		母子・父子福祉センター運営事業	子育て支援課	<p>「母子・父子福祉センター」において、ひとり親家庭や寡婦の生活上の悩みや相談の受付け、仕事のために必要な知識や技能を身につけるための講座等を無料で実施する。その他各種研修会や催し等を行い、ひとり親家庭等の生活の安定、福祉の向上を目指す。</p>	母子・父子福祉センターの延べ利用者数	10,446 人 (R1年度)	目標	前年度 (10,446人) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年度)	拡大	41,143	41,200	維持	1,480	順調	引き続き、就業支援講習会やキャリアカウンセラーによる自立支援プログラム策定などの就業支援に取り組むとともに、様々な機会を通じて母子・父子福祉センターをPRし認知度を上げるよう努める。
								実績	9,059 人										
20	③		里親制度・特別養子縁組の推進	子ども総合センター	<p>里親の新規開拓や里親家庭の支援等を通じて里親委託を推進し、委託率の向上を目指す。</p> <p>加えて、里親制度と合わせた普及啓発を行う等により、子どもにとって永続的に安定した養育環境を提供できる特別養子縁組についても推進する。</p>	要保護児童に対する里親・ファミリーホームの委託率	23.0% (R1年度)	目標	24.0 %	25.0 %	27.0 %	29.4% (R6年度)	継続	3,029	3,010	維持	19,800	順調	NPOや里親支援専門員等の関係機関とも連携した里親養育包括支援業務の推進体制の構築を目指す。
								実績	25.7 %										
19	① ③ ⑩		母子・父子福祉センター運営事業	子育て支援課	<p>「母子・父子福祉センター」において、ひとり親家庭や寡婦の生活上の悩みや相談の受付け、仕事のために必要な知識や技能を身につけるための講座等を無料で実施する。その他各種研修会や催し等を行い、ひとり親家庭等の生活の安定、福祉の向上を目指す。</p>	母子・父子福祉センターの延べ利用者数	10,446 人 (R1年度)	目標	前年度 (10,446人) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年度)	拡大	41,143	41,200	維持	1,480	順調	引き続き、就業支援講習会やキャリアカウンセラーによる自立支援プログラム策定などの就業支援に取り組むとともに、様々な機会を通じて母子・父子福祉センターをPRし認知度を上げるよう努める。
								実績	9,059 人										
20	③		里親制度・特別養子縁組の推進	子ども総合センター	<p>里親の新規開拓や里親家庭の支援等を通じて里親委託を推進し、委託率の向上を目指す。</p> <p>加えて、里親制度と合わせた普及啓発を行う等により、子どもにとって永続的に安定した養育環境を提供できる特別養子縁組についても推進する。</p>	要保護児童に対する里親・ファミリーホームの委託率	23.0% (R1年度)	目標	24.0 %	25.0 %	27.0 %	29.4% (R6年度)	継続	3,029	3,010	維持	19,800	順調	NPOや里親支援専門員等の関係機関とも連携した里親養育包括支援業務の推進体制の構築を目指す。
								実績	25.7 %										

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期目標	成果の方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度											R2年度 実績
21	③ ⑬		児童養護施設等小規模化・高機能化等、体制強化の推進	子育て支援課	児童養護施設・乳児院・児童心理治療施設・児童自立支援施設・自立援助ホーム・ファミリーホーム・里親において、保護を要する児童に係る必要な経費を負担し、社会的養護が必要な子どもが、それぞれの子どもにあった生活環境で、健やかに生まれ、自立できる社会環境づくりを推進する。	地域小規模児童養護施設実施箇所数	6箇所 (R1年度)	前年度 (6箇所) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	拡大	2,667,623	3,058,409	増額	12,825	順調		児童養護施設の機能強化や家庭的養護推進のため、地域小規模児童養護施設の増設など小規模かつ地域分散化の推進、家庭支援専門相談員の増員や自立支援担当職員の配置を行う。 また、児童養護施設等に入所措置を受けていた児童（若者）について、退所後も22歳の年度末までより手厚く支援が行えるよう居住費・生活費などの支援の拡充を図る。		
22	① ③		養育費確保サポート事業	子育て支援課	公正証書作成に係る手数料や養育費立替に係る保証契約を締結した場合の保証料の助成、養育費全般についての相談を受けるアドバイザーを設置し、養育費不払い解消を図る。	公正証書作成、保証料助成申請件数	R3年度 値を設定			前年度比 増加	R3年度 比 増加 (R6年 度)	—	4,200	3,600	減額	1,480	—		ひとり親家庭が養育費を確実に受け取り、子どもが経済的な不利益を被らないようにするため、養育費不払い解消に向けた事業を行う。 事業費については、委託内容の見直し等により昨年度比減となっている。		
23	③ ⑭		親子通園事業	保育課	幼児期の子どもの発達や育児に関して、不安や孤独感を抱えている保護者にとっては、思いを共有し、気兼ねなく安心して親子で過ごせる場所を提供する等、伴走型の支援が必要である。あそびや体験等を通じて、子育ての楽しさや成長の喜びを保護者が感じられるよう保育所で継続した支援を行い、適切な施設への移行等の相談に対応する。	利用者の満足度	100% (R1年 度)	100 %	100 %	100 %	100% (R6年 度)	継続	2,093	1,979	減額	4,650	順調		親子通園を実施する3施設の状況を検証しながら、関係機関との連携を密にし、発達が気になる子どもや育児に不安を持つ保護者に対して、継続した支援を行う。さらに、活発にPR活動を行い、地域の実情に合わせ、支援を必要としている親子への情報周知を図る。 事業費については、人員配置の見直しにより昨年度比減となっている。		

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期 目標	成果の 方向性	R3年度	R4年度	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度			R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)						
24	③ ⑩		児童虐待防止 (子どもの人 権擁護) 推進 事業	子ども総 合セン ター	児童虐待の早期 発見及び被虐待児 童の迅速かつ適切 な保護を行うた め、関係機関との 連携強化を図り、 児童虐待の防止等 のために必要な体 制を整備するとと もに、関係機関等 の職員の研修を行 う。	指標名等	0件 (R1年 度)	0 件	0 件	0 件	0件 (毎年 度)	継続	31,045	41,262	増額	76,500	順調	子ども総合センターの職員 がより深刻なケースに集中し て対応できるよう、令和2年7 月から実施している児童の安 全確認の一部をNPO法人に委 託する事業を通年化する。		
						実績	0 件													
						目標														
25	③ ④ ⑩		子ども食堂開 設支援事業	子育て支 援課	さらなる「子ど も食堂」の普及促 進を目指すため、 コーディネーター の配置や開設補助 など、民間を主体 とした「子ども食 堂」の活動を支援 する。	指標名等	30箇所 (R1年 度)	RI年度 (30箇所) 比増加	RI年度比 増加	RI年度比 増加	RI年度 比増加 (R6年 度)	拡大	9,997	6,597	減額	11,615	順調	開設支援や運営支援等の補 助金交付、コーディネーター の継続的な配置など、子ども 食堂の新規開設や運営がしや すい環境づくりを継続する。 事業費については、ネット ワーク会議のオンライン化等 を行ったため、昨年度比減と なっている。		
						実績	35 箇所													
						目標														
26	③ ⑩		ほっと子育て ふれあい事業	子育て支 援課	仕事の都合や子 どもの軽い病気の 時に、ボランティ ア組織「ほっと子 育てふれあいセン ター」の会員間で 子どもの預かりや 送迎など、子育て 支援サービスの充 実を図る。	指標名等	7,569件 (R1年 度)	前年度 (7,569件) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	RI年度 比増加 (R6年 度)	拡大	14,500	14,500	維持	1,865	順調	子育て世帯への支援に資す るため、引き続き会員との信 頼関係の確立や地域における 子育て支援ネットワークづく りを進める。	順調	身近な地域における子育て を支えるネットワークづくり やお互いの助け合い、民間事 業者との連携など、地域社会 全体で子育てを支援する環境 づくりを進める。また、子育 て家庭のそれぞれの状況に応 じて、必要な支援を届けるこ とのできる環境づくりを進め る。
						実績	4,625 件													
						目標														
27	③ ⑩ ⑩		みんなの子育 て・親育ち支 援事業	子育て支 援課	乳幼児の親同士 が交流を通じて、 自主的な活動を行 えるよう育児サー クルを支援する。 また、自由に参 加・利用できるフ リースペースの活 動を支援するとと もに、地域で子育 てをしやすいシス テムづくり、仲間 づくりを支援す る。	指標名等	440団体 (R1年 度)	前年度 (440団体) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	RI年度 比増加 (R6年 度)	拡大	5,753	5,729	維持	6,400	順調	子育てに関わる団体の自主 的な活動をさらに活発化させ るため、補助件数の増加等、 支援内容について継続的に検 討していく。		
						実績	437 団体													
						目標														
						達成率														



【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期目標	成果の方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度													
I-1-(2)-① 幼児教育の充実	28	③ ⑪ ⑰	赤ちゃんの駅登録事業	総務企画課	官民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やオムツ替えができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを行う。	指標名等	459施設 (R1年度)	目標 前年度 (459施設) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年度)	継続	1,305	1,305	維持	4,400	順調	登録施設の新規開拓に取り組むとともに、「赤ちゃんの駅」の認知度向上や利用促進に向けたPR活動を行い、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを引き続き進める。					
						実績	496 施設																
						達成率	108.1 %																
I-1-(2)-① 幼児教育の充実	29	③ ④ ⑧	幼児教育の振興・子育て支援機能の充実	幼稚園・こども園課	本市の幼児教育の振興と子育て支援機能の強化を図るため、私立幼稚園での幼児教育環境の整備（施設の設備や備品・教材等の購入など）や預かり保育、子育て相談、体験保育などの子育て支援機能の充実に対する助成を行う。	指標名等	幼稚園に対する満足度 (教育・保育の内容)	86.6% (R1年度)	目標 前年度 (86.6%) 比向上	前年度比 向上	前年度比 向上	R1年度 比 向上 (R6年度)	継続	360,130	408,400	増額	6,190	順調	子育て支援機能の充実及び私立幼稚園教育の振興のため、引き続き助成を実施すると共に、特別な教育的支援を必要とする幼児の就園先の確保のため、協定を締結した園に対する助成を継続する。				
						実績	87.7 %																
						達成率	101.3 %																
I-1-(2)-① 幼児教育の充実	30	④ ⑰	保育所、幼稚園、小学校の連携	幼稚園・こども園課	保育所、幼稚園の保育環境から小学校の学習環境への円滑な接続を図るため、公私、保幼小の代表者で構成する「保幼小連携推進連絡協議会」を設置し、年1～2回協議を行う。また、保幼小連携担当者を対象に研修会を実施するなど、連携推進を図る取組を行う。	指標名等	保幼小連携事業を実施する保育所、幼稚園、小学校の割合	99.0% (R1年度)	目標 98.5 %	99.0 %	99.0 %	R1年度 比 (R6年度)	継続	1,088	1,051	維持	7,825	順調	年2回の「保幼小連携推進連絡協議会」の開催と、連携担当者と管理職を対象とした研修会を継続することにより、保育所・幼稚園の保育環境から、小学校の学習環境への円滑な接続を図る。	順調	幼児教育充実のため、引き続き、教育環境の整備などに取り組むとともに、保育所、幼稚園等と小学校間が連携し、保育所・幼稚園等から、小学校への円滑な接続を図る。 特別な支援が必要な子どもへの対応の充実にも引き続き取り組む。		
						実績	88.3 %																
						達成率	89.6 %																



		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価		【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標			
I-1-(4)-① 青少年の健全 育成・非行を 生まない地域 づくり	31	④ ⑧	青少年ボラン ティアステ ーション推 進事業	青少年課	社会の構成員としての規範意識や他者への思いやり等の豊かな人間性を育むとともに、社会性や協調性等を身に付けることができるよう、青少年が行うボランティア活動を支援・促進する。	指標名等	現状値 (基準値)	6,943人 (R1年度)	前年度 (6,943人) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比 増加 (R6年 度)	継続	1,533	1,523	維持	11,150	遅れ	順調	次代を担う青少年が社会との関わりを自覚し、自己を確立・向上していけるよう、引き続き、ボランティア活動を通じた豊富な体験活動プログラムの提供と活動支援を進めていく。 若者の状況に応じて、適切な時期に的確な支援機関につなげられるよう、関係機関との連携をさらに強化していく。 青少年を有害環境から守るため、企業・青少年団体・地域等と連携し、有害環境の浄化とともに、メディアリテラシーの向上を図るなどして、非行防止に取り組む。 警察や薬剤師会、地域団体等と連携し、薬物乱用の撲滅機運を高めるための取り組みを推進する。 また、協力雇用主や保護司と連携し、非行少年の立ち直り支援を進める。			
						実績	2,329 人																
						達成率	33.5 %																
32	④ ⑧	「ユースス テーション」 の運営	青少年課	中学生・高校生を中心とした若者の活動拠点となり、社会参加準備のためのさまざまな活動を体験することができる施設として「ユースステーション」の運営を行う。	指標名等	現状値 (基準値)	29,425人 (R1年度)	前年度 (29,425人) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比 増加 (R6年 度)	継続	45,774	45,774	維持	2,900	やや 遅れ		引き続き、将来を担う中・高校生をはじめとする若者が、学習や体験、スポーツ・音楽活動、仲間との交流などを通じて「自己を発見し、社会性や自立性を身につける場」として運営を行う。				
					実績	15,309 人																	
					達成率	52.0 %																	
33	④ ⑧ ⑰	子ども・若者 応援センター 「YELL」の運 営	青少年課	不安定な雇用やニート（若年無業者）、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者が増加している。 そのため、困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート（コーディネート）していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』において、自立を支援する。	指標名等	現状値 (基準値)	481人 (R1年度)	550 人	600 人	650 人	750人 (R6年 度)	継続	24,016	24,016	維持	3,775	順調		家族や周囲との円滑なコミュニケーションの不足などにより、社会生活を営む上で「困難」を抱えている子どもや若者一人ひとりの状況に応じた支援を行うため、「子ども・若者応援センター『YELL』」の自立に向けた体験プログラムをさらに充実させ、若者一人ひとりに応じたメニューを実施していく。 このほか、オンラインでの支援など、若者のニーズに対応した相談方法を実施する。				
					実績	516 人																	
					達成率	93.8 %																	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
34	④ ⑪ ⑰		「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	「Ⅰ非行防止対策」「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計）	目標	前年(3.6人)比減少	前年比減少	前年比減少	R1年比減少(R6年度)	継続	31,647	29,895	減額	15,950	順調	関係機関や団体、地域との連携をより一層推進し、効率的・効果的な事業実施を行い、「青少年の非行を生まない地域づくり」の実現を目指す。 事業費については、委託内容の見直し等により昨年度比減となっている。	
							実績	3.4 人											
							達成率	105.6 %											
						北九州市協力雇用主登録業者数	目標	前年度(262社)比増加	前年度比増加	前年度比増加	R1年度比増加(R6年度)								
							実績	267 社											
							達成率	101.9 %											
I-1-(4)-③ 若者の自立支援	35	④ ⑧	若者のための応援環境づくり推進事業	青少年課	不安定な雇用やニート（若年無業者）、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者が増加している。そこで、若者のための応援環境づくりを推進する。	子ども・若者応援センター「YELL」の相談件数	目標	前年度(2,900件)比増加	前年度比増加	前年度水準を維持	R1年度比増加(R6年度)	継続	2,218	1,873	減額	5,525	順調	社会生活を円滑に営む上で「困難」を抱えている子どもや若者が増加しており、抱える問題も複雑化しているため、「子ども・若者応援センター『YELL』」の来所相談以外の相談方法を検討し、若者が相談しやすい環境整備を行うほか、北九州市子ども・若者支援地域協議会実務者会議の開催を通じた関係機関の情報共有、若者向けホームページの充実による、若者への情報発信を推進する。 事業費については、ホームページの統合により、委託料が昨年度比減となった。	順調
							実績	2,322 件											
							達成率	80.1 %											
						子ども・若者応援センター「YELL」の相談件数	目標	前年度(2,900件)比増加	前年度比増加	前年度水準を維持	R1年度比増加(R6年度)								
							実績	2,322 件											
							達成率	80.1 %											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
36	④ ⑧		不登校状態の子どもに寄り添った次への一歩応援事業	青少年課	不登校状態にある中学生を対象に、卒業後に孤立することがないように、訪問支援等を通じて一人ひとりに寄り添った伴走型支援を行う。	伴走支援を行った結果、改善が見られた人数	14人 (R1年度)	目標	前年度 (14人) 比増加	前年度比 増加	前年度水準 を維持	R1年度 比増加 (R6年 度)	継続	13,000	13,000	維持	5,525	順調	令和3年度から新たに開始した「卒業1年目の要継続支援者」のその後の経過状況等を参考にしつつ、不登校状態にある中学生を対象に、卒業後に孤立することがないように、学校や少年支援室等、関係機関と連携の上、引き続き一人ひとりにきめ細かく支援を行い、社会的自立につなげていく。
								実績	16 人										
37	④ ⑧ ⑰		子ども・若者応援センター「YELL」の運営	青少年課	不安定な雇用やニート（若年無業者）、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者が増加している。そのため、困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート（コーディネート）していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』において、自立を支援する。	「YELL」来所相談者の就業等実績（累計数）	481人 (R1年度)	目標	550 人	600 人	650 人	750人 (R6年 度)	継続	24,016	24,016	維持	3,775	順調	家族や周囲との円滑なコミュニケーションの不足などにより、社会生活を営む上で「困難」を抱えている子どもや若者一人ひとりの状況に応じた支援を行うため、「子ども・若者応援センター『YELL』」の自立に向けた体験プログラムをさらに充実させ、若者一人ひとりに応じたメニューを実施していく。このほか、オンラインでの支援など、若者のニーズに対応した相談方法を実施する。
								実績	516 人										



【Plan】 計画 / 【Do】 実施												【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
38	④ ⑪ ⑰		「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	「Ⅰ非行防止対策」「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率(暦年統計)	3.6人 (R1年度)	目標 前年(3.6人)比減少	前年比減少	前年比減少	R1年比減少 (R6年度)	継続	31,647	29,895	減額	15,950	順調	関係機関や団体、地域との連携をより一層推進し、効率的・効果的な事業実施を行い、「青少年の非行を生まない地域づくり」の実現を目指す。事業費については、委託内容の見直し等により昨年度比減となっている。			
						北九州市協力雇用主登録業者数	262社 (R1年度)	目標 前年度(262社)比増加	前年度比増加	前年度比増加										R1年度比増加 (R6年度)	
I-2-(2)-① 成長産業を支える高度人材の育成	39	④ ⑨	<新>北九州市科学館スペースLABO運営経費	青少年課	科学・技術への興味・関心を高める科学館とするため、様々な来館者増に向けた取組を行うもの。取組の一環として、教職員や子ども達へ講座やクラブ活動等を行い、技術系人材の育成を図る。	年間来館者数	—	目標	500,000人	年間来館者数50万人(毎年度)	—	—	567,578	—	128,000	—	北九州市立児童文化科学館の老朽化を受けて、北九州市科学館としてスペースワールド跡地(イオンモール新施設敷地内)に移転・新設し、令和4年春に開館する。新科学館は、利便性の高い立地や博物館群・商業施設のある周辺環境を活かし、子どもを中心とする全世代を対象とした賑わいを創出する魅力ある施設として、様々な事業や企画を実施するなどして運営を行うもの。	—	北九州市立児童文化科学館の老朽化を受けて、北九州市科学館としてスペースワールド跡地(イオンモール新施設敷地内)に移転・新設し、令和4年春に開館する。科学や技術への興味・関心を高め、北九州市の未来を担う人材を育む、賑わいを創出する魅力ある施設として、適正かつ効率的な運営を行う。		
						実績	—	実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
						達成率	—	達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
II-1-(3)-⑤ 非行や犯罪を生まない地域づくり	40	④ ⑪ ⑰	「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	「Ⅰ非行防止対策」「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率(暦年統計)	3.6人 (R1年度)	目標 前年(3.6人)比減少	前年比減少	前年比減少	R1年比減少 (R6年度)	継続	31,647	29,895	減額	15,950	順調	関係機関や団体、地域との連携をより一層推進し、効率的・効果的な事業実施を行い、「青少年の非行を生まない地域づくり」の実現を目指す。事業費については、委託内容の見直し等により昨年度比減となっている。	順調		
						北九州市協力雇用主登録業者数	262社 (R1年度)	目標 前年度(262社)比増加	前年度比増加	前年度比増加										R1年度比増加 (R6年度)	
								実績	267社	実績	267社										
								達成率	101.9%	達成率	101.9%										



		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										← 【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
II-3-(1)-④ 子どもの 人権の 尊重	41	③ ⑯	児童虐待防止 (子どもの人 権擁護) 推進 事業	子ども総 合セン ター	児童虐待の早期 発見及び被虐待児 童の迅速かつ適切 な保護を行うた め、関係機関との 連携強化を図り、 児童虐待の防止等 のために必要な体 制を整備するとと もに、関係機関等 の職員の研修を行 う。	児童虐待による 死亡事案の発生 件数	0件 (R1年 度)	目標 0 件	実績 0 件	達成率 100.0 %	0件 (毎年 度)	継続	31,045	41,262	増額	76,500	順調	順調	「北九州市子どもを虐待から守る条例」に基づき、児童虐待の未然防止に取り組む。また、児童虐待が深刻化する前に早期発見・早期対応に取り組む、子どもの安全を守るための一時保護や被虐待児のケア、家族再統合に向けた保護者への支援等を行うことで児童虐待の防止に努めるほか、子どもの心のケアに重点を置いた取組を強化する。 引き続き、児童虐待対応のための教育研修を実施し、児童虐待対応のためのネットワークづくりを進める。 事業の実施にあたっては、計画的な研修を通じ、相談員の資質向上を図るなど効率的な運営を行う。
						児童虐待相談対 応件数のうち、 「医療機関」か らの件数 ※指標廃止	54件 (R1年 度)	目標 前年度水準 (54件) を維持	実績 22 件	達成率 40.7 %	RI年度 比維持 (R6年 度)	継続	5,747	5,455	減額	2,240	順調	拠点病院を中心に更なるネットワークの強化を図る。事業費については、研修経費等を見直した結果、昨年度比減となっている。	
						拠点病院への児 童虐待相談対 応件数 ※指標追加	534件 (R1年 度)	目標 前年度水準 を維持	実績 749 件	達成率	RI年度 比維持 (R6年 度)								【指標廃止・追加の理由】 重篤な虐待対応の相談のほか、虐待通告に至らない多数の相談も拠点病院が対応していることから、その件数を反映するため指標を変更する。
43	③ ⑯	子ども・家庭 相談コーナー 運営事業	子育て支 援課	各区役所に「子 ども・家庭相談 コーナー」を設 置し、子どもと家 庭に関するあらゆる 相談をひとつの窓 口で受け、ひとり 親家庭の自立支 援、DV被害者対 応、児童虐待等、 それぞれの相談に 応じた支援・対応 を行うとともに、 必要に応じて他の 機関のサービス・ 支援へとつなげ る。	児童虐待対応件 数	RI年度 値を設 定 (参 考: H30年度 1,487 件)	目標 前年度 (2,110件) 比減少	実績 2,355 件	達成率 88.4 %	RI年度 比減 少 (R6年 度)	継続	126,400	124,815	維持	6,075	順調	児童虐待に関する相談は増加傾向にあるため、引き続き虐待への相談や迅速かつ適切な支援が行える体制の維持を図る。		
					コーナーの児童 虐待対応件数	537件 (R1年 度)	目標 —	実績 —	達成率 —	—									

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
	44	③ ④ ⑬	<新>ヤングケアラー相談支援事業	子育て支援課	ヤングケアラーの早期発見・支援のため、ヤングケアラー等からの相談に対応し、必要に応じて関係機関につなぐとともに、アウトリーチによる学校等との連携、ヤングケアラーへの支援、広報・啓発等を行う。	ヤングケアラーに関する相談件数	R4年度相談件数	目標			相談対応開始	R4年度比増加(R6年度)	—	—	10,000	—	2,240	—	ヤングケアラーの悩みなどの傾聴・対応をするため、電話・電子メール等による相談業務を開始する。		
IV-3-(2)-② 女性が活躍する産業都市づくりの推進	45	③ ④ ⑧	特別保育事業補助	保育課	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、保育所の保育時間を午後7時もしくは8時まで延長する「延長保育」の充実を図る。また、保護者のパート就労や育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育する「一時保育」の充実を図る。さらに、保育所の通常保育に加え、延長保育や一時保育においても、集団保育の可能な障害のある児童の受け入れを行う「障害児保育」の充実を図る。	午後8時まで延長保育を実施する保育所の施設数	2箇所(R1年度)	目標	2	箇所			現状維持(R6年度)	継続	705,770	676,623	維持	3,650	順調	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を継続する。	子どもの生活リズムに十分配慮しながら、保育所における延長保育など、多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図る。
								実績	2	箇所											
								達成率	100.0	%											
						午後7時まで延長保育を実施する施設数	153箇所(R1年度)	目標	153	箇所			現状維持(R6年度)	継続	705,770	676,623	維持	3,650	順調	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を継続する。	子どもの生活リズムに十分配慮しながら、保育所における延長保育など、多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図る。
								実績	148	箇所											
								達成率	96.7	%											
						一時保育事業の実施施設数	82箇所(R1年度)	目標	82	箇所			現状維持(R6年度)	継続	705,770	676,623	維持	3,650	順調	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を継続する。	子どもの生活リズムに十分配慮しながら、保育所における延長保育など、多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図る。
								実績	80	箇所											
								達成率	97.6	%											
						午後7時まで延長保育を実施する施設の割合	93.9%(R1年度)	目標	現状値(93.9%) 同水準		前年度同水準	前年度同水準	現状値と同水準(R6年度)	継続	705,770	676,623	維持	3,650	順調	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を継続する。	子どもの生活リズムに十分配慮しながら、保育所における延長保育など、多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図る。
								実績	94.2	%											
								達成率	100.3	%											
一時保育事業の実施施設の割合	56.2%(R1年度)	目標	現状値(56.2%) 同水準		前年度同水準	前年度同水準	現状値と同水準(R6年度)	継続	705,770	676,623	維持	3,650	順調	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を継続する。	子どもの生活リズムに十分配慮しながら、保育所における延長保育など、多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図る。						
		実績	56.7	%																	
		達成率	100.9	%																	